

代表者	経理責任者

支 払 伝 票			経理番号
			/
会 派 名	無所属	年 度	令和7年度
項 目	広報費	金 額	199,067円
内 容	市議会報告印刷代と新聞折り込み代		
支 払 先	(株) 関西共同印刷所	支払年月日	2025年12月15日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

領 収 証 市議会議員 立花しゅんじ 様

金 額	¥ 199,067
-----	-----------

入金内訳	現 金	振 込
	小 切 手	
	手 形	

但し 加古川市議会報告 2025年秋季号
2025年12月15日 上記正に領収いたしました。



株式会社 関西共同印刷所
 本 社 大阪市東区西船場3丁目15番5号
 TEL 06-6661-1188(代)
 京都営業所 京都市中京区西院町542
 サンフイビル
 TEL 京都(075)211-5941

担当者印



請求書

〒675-8501
加古川市加古川町北在家2000
加古川市役所内日本共産党議員団控室
市議会議員 立花しゅんじ 様

株式会社 西日本印刷所
〒531-0076 大阪府北区本町3-15-5
TEL 06-6452-1883 (総務部)
登録番号 T11200061004522

振込先 加古川市役所
銀行 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
支店 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
支店 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
支店 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

請求No.: 1121

顧客No.: 〇〇〇〇〇〇〇〇

担当者: 〇〇〇〇〇〇〇〇

下記の通りご請求申し上げます。

税抜計(10%)	消費税(10%)
180,970	18,097

合計金額	199,067
------	---------

日付	区分	商品名	数量	単価	金額	備考
2025/11/10	売上	加古川市議会報告 2025年秋季号	1		0	
2025/11/10	売上	市議会報告作成代	16,000		130,370	
2025/11/10	売上	新聞折込代	15,000		50,600	
小計					180,970	

【ご入金時のお願い】お振込みの際は「請求No.」のご入力をお願いいたします。インボイス制度に伴い、振込手数料は貴社のご負担にてお願いいたします。何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

加古川市議会報告

2025年秋季号

発行●市議会議員 立花しゅんじ・市議会議員 橋本和彦 加古川市加古川町北在家2000 TEL 079-427-9303

市議会議員

立花しゅんじ

●産業環境常任委員



市議会議員

橋本 和彦

●総務常任委員



令和6年度

加古川市
一般会計

歳入出決算認定に **反対**

変えてほしい8つの市民の願い

9月議会が10月4日から26日迄、補正予算・条例案・契約・各種報告など45の案件が提案され、決算審査を中心に審議が23日間行われました。2024年度決算の認定について下記の通り8項目の是正を求めて反対の立場で態度表明しましたので報告します。

非正規化の是正 正規職員の削減を強行して、削減した以上に非正規の会計年度職員を採用しています。正規職員同様に行政サービスを実施していますが正規労働者と区別して低賃金労働政策を行って定員管理表にも掲載せず、不当な行政を行っていること。

公共事業の民間委託 福祉向上のためのみんなの税金を使って大企業の儲けを補償する新自由主義路線により、本来公共事業として行うべき事業を次々に指定管理者制度等で民間に委託して役員報酬・配当・内部留保へ税金が流れていること。

随意契約の多用 各種大型事業の実施にあたり、プロポーザル公募方式を採用し、随意契約で競争原理が働いていません。また、市内の業者を最初から排除する審査基準を設定して事業展開が行われていること。

やってる感の喧伝 シティプロモーション事業やイベント事業では、子育てや高齢者の福祉の向上をないがしろにしてやってる感を喧伝するものになっていること。

公平な労働行政 労働政策としての連合メーデーには負担金を支出して全労連系メーデーには予算を計上していないのは平等性に欠けていること。

デジタル不慣れに不親切 デジタル化が進んで、出前講座など体裁はとられていますが、慣れない低所得者や高齢者に対するフォローが不十分で各種手数料に差をつけているのは公務制度設計として不公平であること。

生活保護審査が厳しすぎる 生活保護認定率が近隣自治体よりも低いこと。

基金残高が多い 同程度の財政規模自治体と比較して子育てや高齢者対策をおざなりにして基金をため込んでいること。

播磨臨海地域道路 /

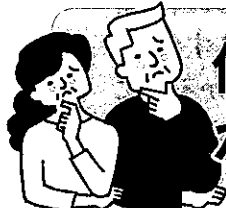
自然災害による加古川の河川氾濫の危惧は？



神戸市内でパレードをする地域連絡会

6月15日に県主催で「都市計画素案」に関する公聴会が、加古川市役所 10階で開かれました。130名の傍聴者が参加され、事前に申し込んだ 13名が意見陳述を行いました。事前連絡で「質疑応答はしない」旨を知らされており、県は今回出された意見の要旨とそれに対する考え方は後日、県のHPなどで公表すると発言。

意見陳述は、「交通量予測の齟齬」「不要不急で1兆円にも及ぶ可能性があるゼネコンと大企業のための道路」「高齢で引っ越しできない」「新たな土地での生活に不安」「自然破壊反対」などでした。9月27日(土)には神戸で道路建設中止を求める3市1町の地域連絡会がアピール行動を行いました。



他市より生活保護率が低いのはなぜ？

明石市や高砂市と比較して生活保護率が低いがその理由は何の質問に対して、次のように答弁しています。「本市は両市と比べて低廉な家賃である公営住宅の割合が少ないことも保護率が低くなっている一因と推察しています」。市民の皆さんはこの答弁を聞いてどのように思われますか。なるほどとは思えません。生活保護率とは人口千人あたり生活保護者が何人いるかを%に直したものですが明石市は1.7%、高砂市は1.3%、加古川市が0.88%です。公営住宅が少ないという理由は理由になっていません。審査基準が市民に冷たい行政を行っていることを指摘しました。



播磨臨海地域道路に対する 住民感情の認識は？

質問 2023年10月から都市計画手続きによる説明会が順次開催されました。その中で行政からは幾度となく「丁寧に説明し理解を得る努力をする」と返答がありますが、駅頭においてシール投票を行った結果「知っている」と答える方より「知らない」との返答の方が多い結果がある事への認識は。

回答 令和5年度は「説明会4回」6年度は「説明会5回」質疑応答の時間も取り行いました。早期実現を求める声もあり、一方不安のある意見も承知しています。まだまだ知られていない現状に対しても県と市のHPなどでも知らせていきたいと思えます。

渇水対策による 市民プールの営業中止について

質問 8月に入ってもまとまった雨が降らず、加古川大堰の貯水率が大きく低下したために「日岡山」「浜の宮」の両市民プールの営業がされなかった問題で高額な民営プールの利用が余儀なくされた問題と、例年利用者は他市町の方も多く来られ「安い料金は家計を助ける」との声、ウェザーニュースなどでは長期予報が出されているのに判断が早かったのではないかと。

回答 過去にも市内断水の状況の寸前になった事もあった、平成6年の雨量状況と同様な状況を迎えていた。吞吐ダム20%取水制限と水事情に余裕なく、大堰では7月から急激に貯水率が低下し最悪8月中旬には0%にほぼなる危険があり、工業用水15%農業用水25%制限上水はより一層制限努力を要請、神戸地方気象台では雨予報はあったが降水量まで明らかにされていなかったための判断。

希望する市民には PFAS「血中濃度検査」を！

質問 PFAS希望する市民の血中濃度検査について加古川市地下水では国の指定する暫定目標数値(1リットル当たり50ナノグラム)以下ではありますが、今現在の数値はそれでもいつ数値超えるのか不安に思っている住民に対しどのようなお考えでしょうか。

回答 国の指針に基づき令和6年度6か所の地下水調査で下回り、今年度は別府川のほか9か所の河川新たに調査し、地下水については11月ごろに6か所追加調査するため、今のところ「血中濃度検査」は必要ないと考えています。

意見 数値を超えた段階で濃度が超えましたでは手遅れである、不安に思う住民への働きかけをお願いします。

住みたいまち加古川をめざして



訪問介護事業に 市独自の支援を



物価高や人件費高騰に追い打ちをかけて国が介護報酬を2.4%引き下げたために全国で訪問介護事業所の倒産が相次ぎ、加古川市でも減少傾向にあることから、介護報酬引き下げ分を補填する支援事業を実施するよう求めました。答弁は県の補助制度があるので活用するよう周知するにとどまりました。

滞納者に対する丁寧な説明と 違法な差し押さえについて

滞納して分納を余儀なくされている市民に対する時効説明や介護保険利用時の制度設計について丁寧な説明が欲しい。国保の滞納に対して、なけなしの給与が口座に振り込まれたとたん金融資産だとして差し押さえられた、おかしいのではないかと、との市民要求を受けて事実関係を質しました。答弁はコンプライアンスを尊重したものでしたが現場では違うので是正を求めました。差し押さえについても答弁は遜色のないものでしたが、市民が指摘している違法性のある給与の属性がある振り込まれた直後の貯金を金融資産だとして差し押さえた事実についてコメントはありませんでした。

いのちのとりで裁判を受けて どのように向き合うのか？

生活保護基準を平均6.5%切り下げたのは健康にして文化的な最低限の補償をすとして憲法25条に違反しているという訴えに対して、2025年6月27日、最高裁が違憲とする判断を示しました。加古川市は違憲の切り下げを行い、保護率の全国平均は1.62%なのに0.88%と低く、鈴鹿市同様に申請時に硬貨も含めて財布の中身を確認し、3重の意味で生活苦に陥った市民に冷たい福祉行政を改めるよう求めました。

カイロ灰の回収と 再利用について



使い捨てカイロ灰の回収について市民から東京都や神戸市が取り組んでいる。鉄分の回収や各種用途に活用されている。加古川市でも採用して欲しいとの意見がありました。使い捨てカイロは年間17億個余り作成され多くの市民が恩恵にあずかっていますが原料中の半分以上は鉄粉だといわれていることから加古川市でも導入するよう求めました。答弁は費用対効果の課題があり実証実験を行っている自治体の動向を注視し、調査研究を図るに留まりました。

令和7年 第5回 加古川市議会(定例会)日程(案)

12/3(水)	全議案上程(質疑、付託)	第1日	8(月)	一般質問	第4日	11(木)	産業環境常任委員会	休会
4(木)	一般質問	第2日	9(火)	総務常任委員会	休会	19(金)	委員会審査報告、追加議案上程(即決)	第5日
5(金)	一般質問	第3日	10(水)	福祉教育常任委員会	休会			

【 請願の締め切りは11月21日(金)です 】

議案は市HPにも掲載されます。議会・委員会は9:30開会予定です。